



Super  
SHIP



# SLS小船

800XH/1000XH  
2000XH/3000XH

## 取扱説明書

このたびは、SLS小船シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

このシリーズは、軽量・コンパクト・ハイパワーを追求した新しい船りールとして、リールの脚をハンドル側によせ、スムーズで力強いギヤシステム、スーパーSHIPを採用しました。

また、船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚

取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、SLS小船シリーズではシマノ独自のSLSII（シマノ・ラインプログラム・システム2）を搭載。

SLS小船シリーズの機能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

特長 .....	2	船ベリアラーム .....	16
デジタルカウンターの各部の名称 .....	3	2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード .....	17
各部の名称 .....	4	上からモードの実釣編 .....	18
学習方法 .....	5	底からモードの実釣編 .....	19
学習方法 1:PEライン [学習モード] .....	6	電池の交換方法 .....	20
学習方法 2:ナイロン系（メータのマーカのない系）[学習モード] ...	8	お取り扱い上の注意 .....	21
学習方法 3:インプット済みラインデータの使用 [指定モード] .....	10	製品のお問い合わせ・アフターサービス / 安全上のご注意 .....	23
学習方法 4:下巻を行う場合 [下巻モード] .....	11	仕様 .....	24
0（ゼロ）セットの設定 .....	14	故障かな？と思われたときは .....	25
0（ゼロ）セットについて .....	15	シマノ全国サービスネット .....	26

# 特長

## 1 しっかり握れてグラつかない、 スーパーSHIPのハイパワー。

極限まで軽量コンパクトを追求したボディ設計は、しっかりと握り込むことができます。さらに、リールの脚をハンドル側によせ、クランクハンドルを搭載することで、巻き上げ時のグラつきを追求。スーパーSHIPを採用したギヤは、スムーズで軽い巻き上げを実現しました。

## 2 釣行後はザブザブ水洗いOKの洗ってメンテ対応。

## 3 錆に強いA-RB採用。



全てのボールベアリングとローラークラッチにシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB (Anti-Rust Bearing)」を採用しています。

## 4 SLSII(シマノ・ラインプログラム・システム2)を搭載。すばやく、正確にタナを狙えます。

リール本体からローラーをなくしたので、シカケの落下が速くなり、しかもローラーのスリップによる誤差もありません。

## 5 「上からモード」「底からモード」切り替えて 棚の水深が一目でわかるカウンター。

船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上(水面)からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何mか巻き上げて棚を取る方法の2種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といたように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。

## 6 下巻き自在の スプール下巻きライン&下巻きゲージ。 スプール下巻きラインと、下巻きゲージでピッタリに 巻き上げられます。

## 7 SLS小船シリーズだけの簡単操作。

正確な水深を表示させるための0セットシステム。

アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。

高切れをしても安心なワンタッチ高切れプログラム補正システム。

精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。(100m以上は1m単位)

スタードラッグは、スムーズで強力な締付力を実現する高性能カーボンドラッグワッシャ採用。

(2000XH/3000XHはカーボンワッシャ採用)ファインセラミックガイドリング採用のDDL(ダイレクトドライブレベルwind)。

ラインのからみにくい新設計レベルwind。レベルwindで指をはさむのを防止するセーフティレベルwindカバー。

ハンドル長は79mmと60mmの切り替えが可能。(79mm...パワー巻き上げ用・60mm...高速巻き上げ用)

このクラスとしては目を見張るほどの軽量コンパクト化を実現。

# デジタルカウンターの各部の名称

**現在の水深**  
「上からモード」の時は  
水面からの水深、  
「底からモード」の時は  
底からの水深を表示します。

**モードボタン**  
(6~13ページ参照)

先の細いもの  
でワンタッチ

押すごとに学習・指定・  
下巻の順でモードが  
切り替わります。

**ON/上底・OFFボタン**  
(6・17ページ参照)

ワンタッチ

電源をONにします。  
その後は押すごとに  
それぞれ底からモード・  
上からモードが  
切り替わります。

3秒以上

電源をOFFにします。

**各種表示**  
底：底からモード時に  
点灯します。点灯のない時  
は上からモードです。  
学習・指定・下巻：  
各モード時に点灯します。  
0セット：0セット受付時  
に点灯します。

**メモカウンター**

メモリーした水深を  
表示します。

電池の交換時期に  
なると点灯します。

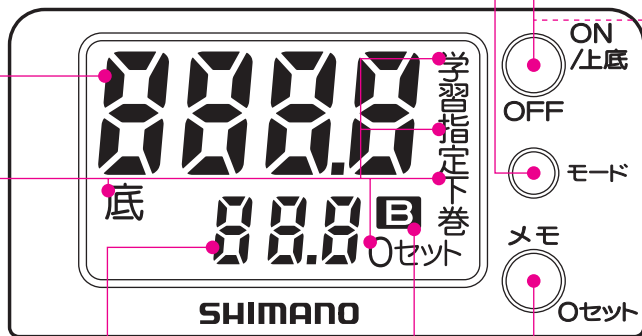
**メモ・0(ゼロ)セットボタン**  
(14・15・18・19ページ参照)

ワンタッチ

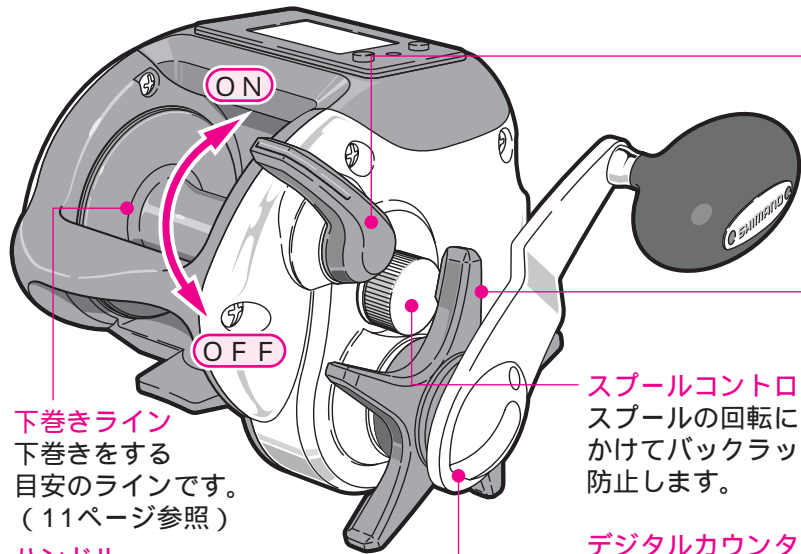
「上からモード」の時  
現在の水深をメモリー  
します。  
「底からモード」の時  
には同時に現在の水深が  
0.0になり底からの  
カウントになります。

3秒以上

0セットします。  
シカケを水面に合わせて  
0セットしてください。

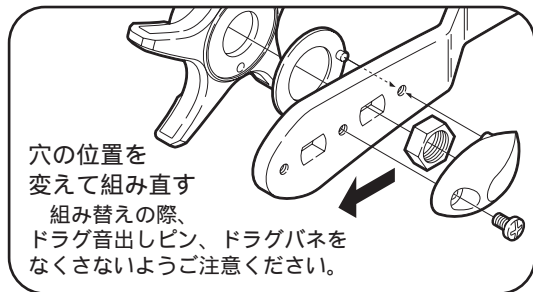


# 各部の名称



**下巻きライン**  
下巻きをする  
目安のラインです。  
(11ページ参照)

**ハンドル**  
下図のように組み直すことで  
長さ79mmと60mmの切り替えが可能です。

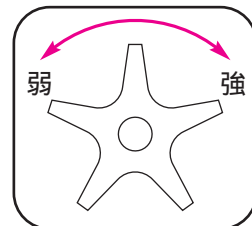


## クラッチ

ハンドル正転または手で戻すと  
ONになります。  
ON : シカケの巻き上げ  
OFF : スプールをフリーにして  
シカケをおろします。

## スタードラグ

魚が強く引いた時  
ハリス切れを  
おこさないように  
糸を送り出す力を  
調整します。



スプールコントロールツマミ  
スピールの回転にブレーキを  
かけてバックラッシュを  
防止します。

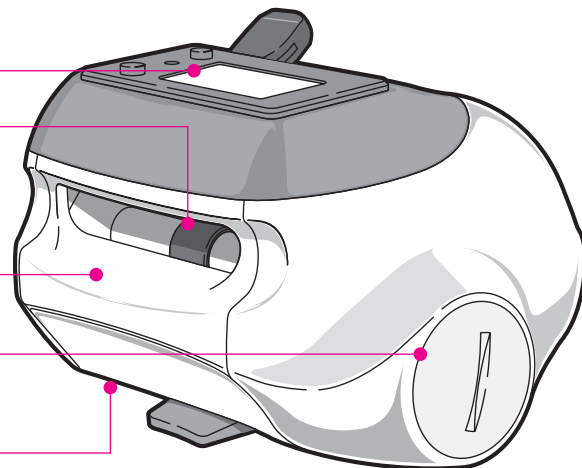
## デジタルカウンター

DDL (ダイレクト  
ドライブレベル  
wind)

セーフティレベル  
windカバー

## バッテリーキャップ

## ラインホルダー

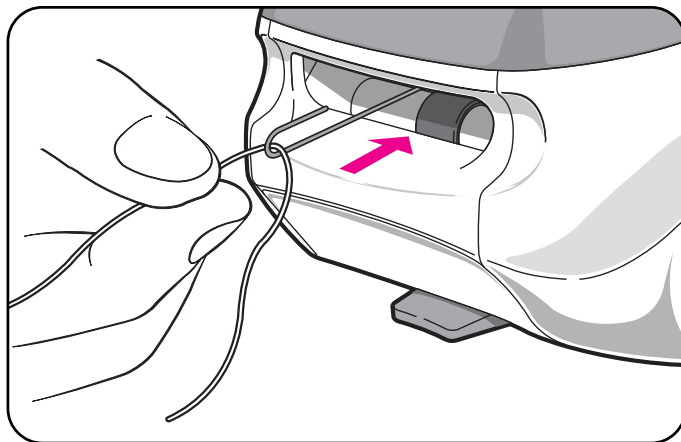


# 学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

最初に糸を巻く時や糸を巻きかえる時は、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

## 1 糸をセットします。



**1** 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。

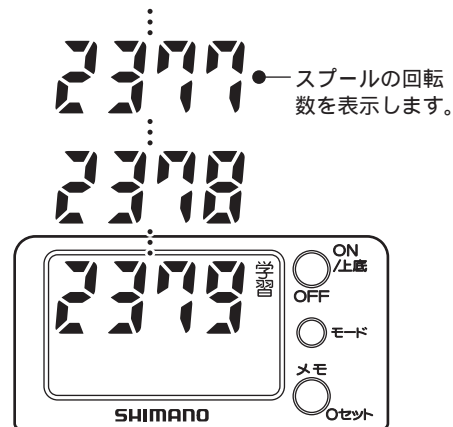
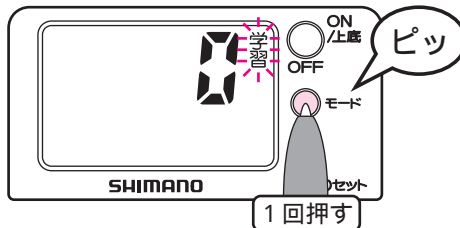
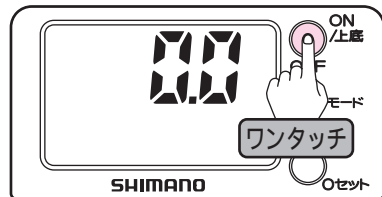
**2** 糸をスピールのピンに結んでください。

**3** 1～2回ハンドルを正転させスピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

## 2 【その1：PEライン（新素材系）を巻かれる場合】学習モードを使用します。

ナイロン系（メータのマークのない系）を巻かれる場合は8・9ページをごらんください。また、よつあみスーパーダイニーマ4号-200m 800 / 5号-200m 1000 / 6号-200m 2000 / 6号-300m 3000 巻いたデータはすでにインプット済みです。（指定モード・10ページ参照）下巻を行っての学習も可能です。（下巻モード・11ページ参照）



**1** 電源ONを確認してください。液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合は、ON/上底・OFFボタンを3秒未満押しで電源をONにしてください。

### 電源をOFFする方法

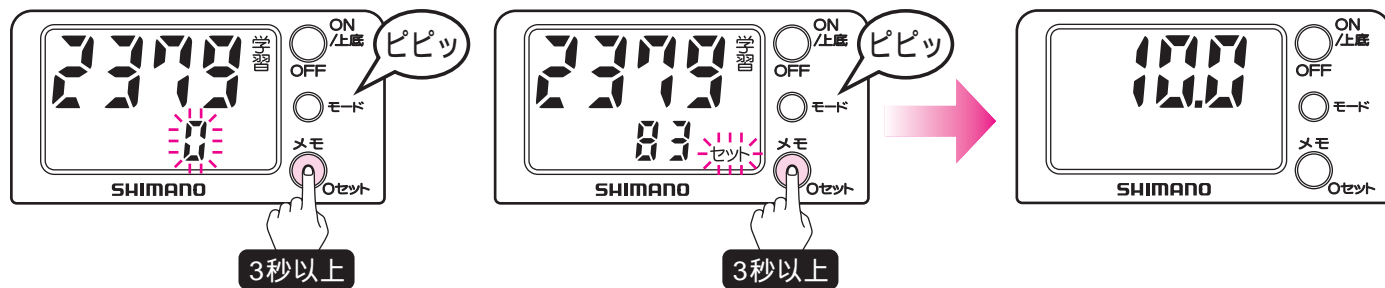
約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/上底・OFFボタンを3秒以上押し続けてください。

**2** モードボタンを1回押すと「学習」が点滅して学習モードになります。モードボタンを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。（モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。）

**3** 糸を巻いてください。糸を巻きはじめると「学習」が点灯に変わり、回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。（約800gのテンションを目安にしてください。）

ご注意：3号以下の細い糸を使用される際は、巻き過ぎたり、バックラッシュ等をしますと、スプールと本体枠のすき間に糸が入り込んでしまう場合がありますのでご注意ください。

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のように点滅します。糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。

- 5** 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後のモードになります。この場合、糸を出して**2**からもう一度やり直してください。

- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

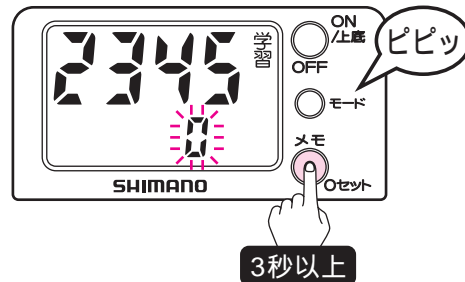
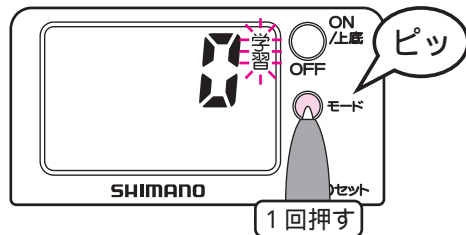
## 【その2：ナイロン系（メータのマーカの無い系）を巻かれる場合】

学習モードを使用します。

カウンター内の数値は例として表示しています。  
実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

2343  
2344

— スプールの回転数を表示します。



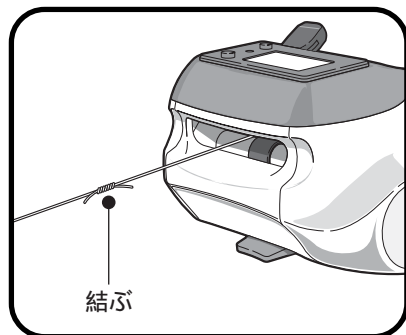
- 1** 学習に入る前にあらかじめ巻く糸と同号数の10m分の糸をご用意ください。  
電源ONを確認してください。  
モードボタンを1回押すと「学習」が点滅して、学習モードになります。  
(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)

- 2** 糸を巻いてください。  
糸を巻きはじめると「学習」が点灯が変わり、回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約800gのテンションを目安にしてください。)

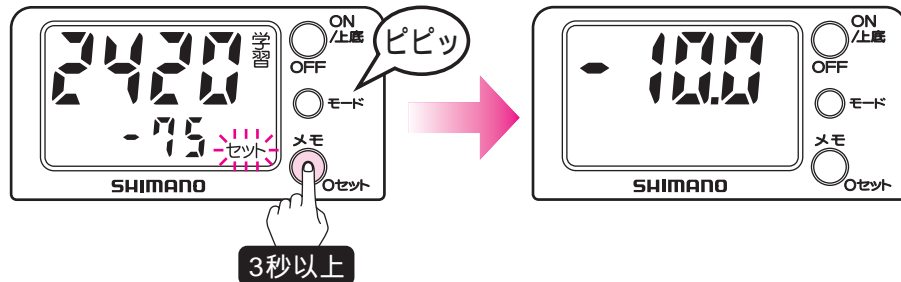
- 3** 糸を完全に巻き終わったら、メモ・0セットボタンを3秒以上押ししてください。  
表示は図のように点滅します。



カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。



- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



- 5** 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。この場合、糸を出して**1**からもう一度やり直してください。

- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

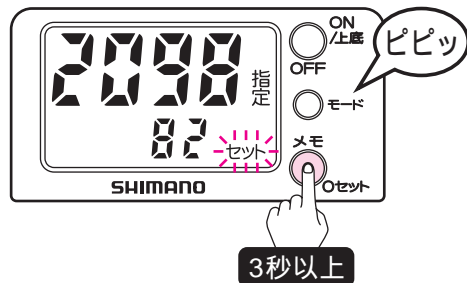
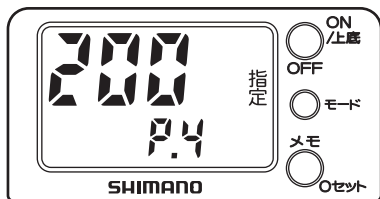
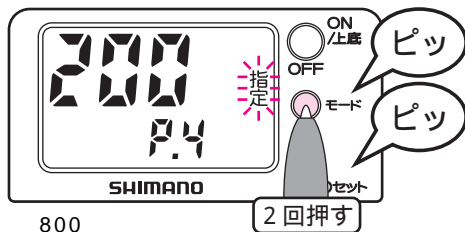
ご注意：ナイロンラインは、巻き上げ繰り返しのテンション変化にて誤差が3%以上生じる可能性があります。

# 学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)

【その3：よつあみ・スーパーダイニーマ 4号-200m 800 / 5号-200m 1000 / 6号-200m 2000 / 6号-300m 3000 を巻かれる場合】指定モードを使用します。

このリールには上記のラインデータがインプットされています。この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。

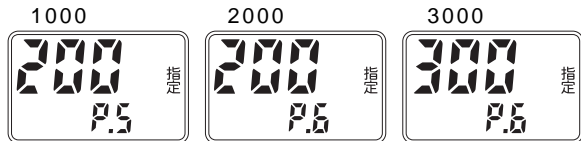
カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



**1** モードボタンをペン先のような先の細いもので2回押してください。  
「指定」が点滅、800の場合は上図のように表示され、指定モードになります。  
(1000、2000、3000の場合はそれぞれ下図の表示になります。)

**2** 糸を巻いてください。  
糸を巻きはじめると「指定」が点灯に変わります。表示はこの時変化しません。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約800gのテンションを目安にしてください。)

**3** 糸を完全に巻き終わったら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
表示は図のようになり、「セット」が表示されます。

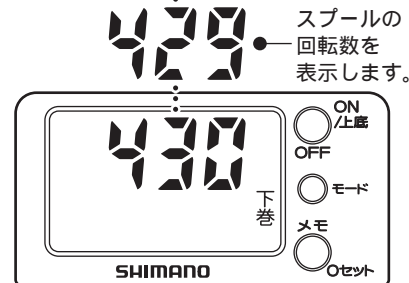
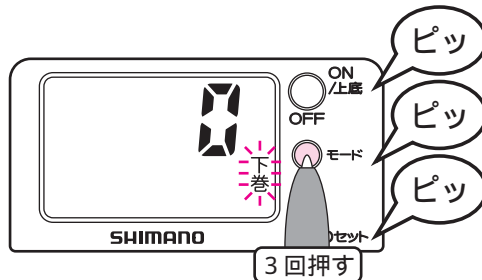
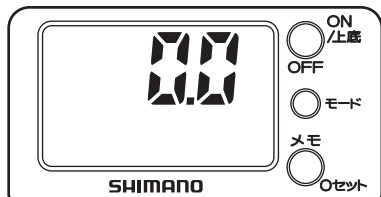


# 学習方法 (下巻をした後で学習が行えます。)

## 【その4：下巻を行って学習する場合】

### 下巻モードを使用します。

スプール下巻きライン、あるいは下巻きゲージの使用により、それぞれ下表の号数を巻くことができます。



- 4** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(先に指定糸を巻き取り、**1****3****4**の順で学習を完了することも可能です。)

ご注意：他の糸を使用される場合、カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

- 1** モードボタンをペン先のような先の細いもので3回押してください。  
「下巻」が点滅、図のように表示され、下巻モードになります。

下巻を行って下表のPEラインを巻くことができます。

品番	800	1000	2000	3000
下巻ライン (PEライン・号-m)	3-200	4-200	5-200	5-200 6-200
下巻ゲージ (PEライン・号-m)	3-100	3-100	3-200	4-400
	3-150	3-150		4-300
		3-200		
	4-100	4-150	4-150	4-150
	4-150		4-200	4-200
	5-100	5-100	5-150	5-300

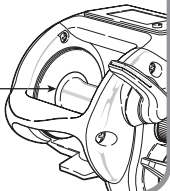
- 2** 次ページの要領で下巻き用の糸を巻いてください。  
糸を巻きはじめると「下巻」が点灯に変わり、回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約800gのテンションを目安にしてください。)

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

次ページにつづく

### スプールの下巻きライン 使用の場合

スプールの  
下巻ラインまで  
下巻します。



### 付属ゲージ使用の場合

垂直に  
差し込む

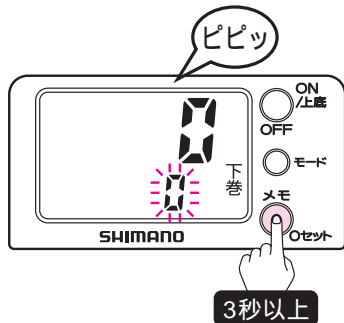
号数マークを  
スプール外周  
に合わせる



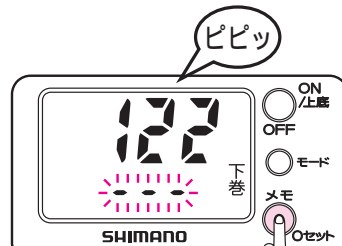
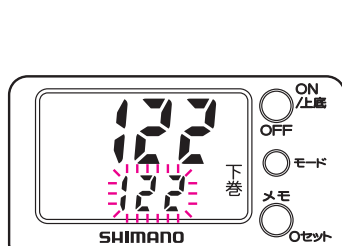
上図のように付属のゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。スプールとゲージの間にできたすき間(図の斜線部)が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

SLS小船XHの下巻きゲージは、SLS小船のものと共通です。

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



3秒以上

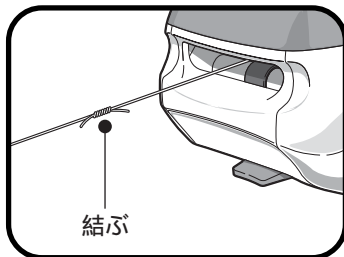


3秒以上

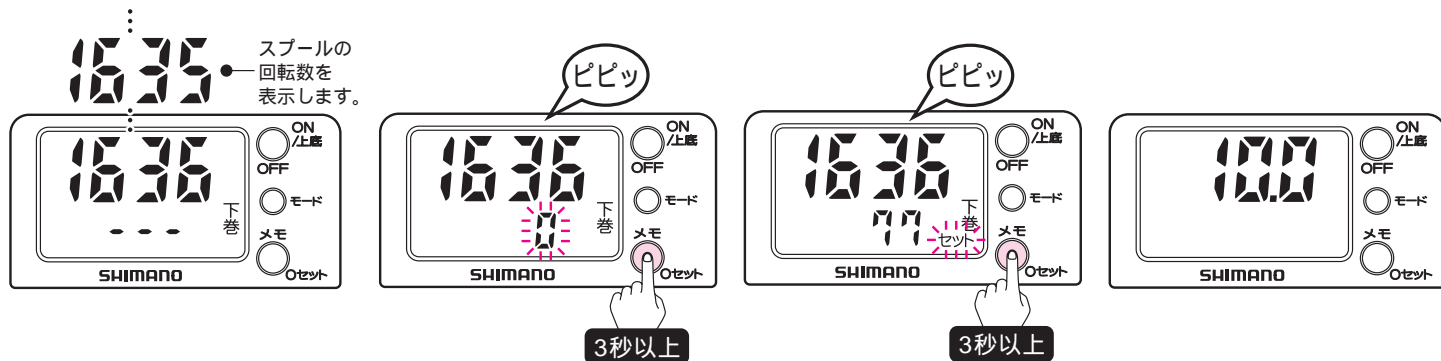
**3** 下巻き糸を巻き終わったら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のように点滅します。巻き取った糸の先に上巻き用の糸を結びつけます。

**4** 上巻き糸の最初の10m分を巻き取ります。回転数が下段に表示されます。

**5** メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。



カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



**6** 上巻き糸を学習するため残りの糸を巻いてください。回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

**7** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のように点滅します。糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。

**8** 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後のモードになります。この場合、糸を出して**1**からもう一度やり直してください。

**9** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

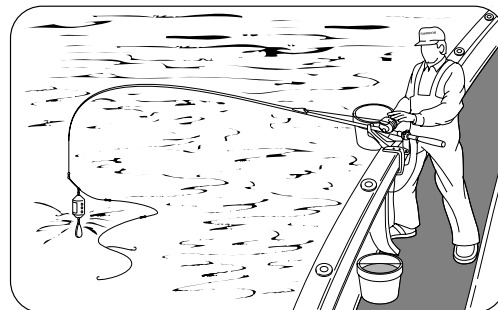
**10** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

# 0 (ゼロ) セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)

## 3 正確な棚取りを実現するために。

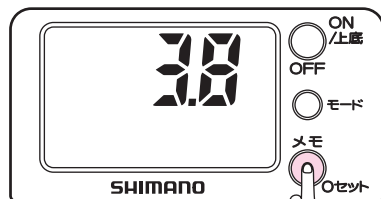
釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。  
そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定することです。「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。



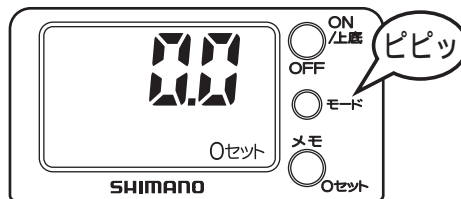
シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1** シカケを水面に合わせ、0セットボタンを3秒以上押して下さい。  
(図は上からモードになっています。)



3秒以上

- 2** 「ピピッ」のアラーム音が鳴り、下図のように表示が変わります。  
(現在の水深が6.1m以上の時はいったんメモとして受け付けますが、そのままボタンを3秒以上押し続ければ、再度0セットとして下図のように受け付け直されます。)



- 3** 0セットの表示が消えれば、これで完了です。



# 0 (ゼロ) セットについて

## 4 0 セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。

### 注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

## 5 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**3**の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

途中で電源を切った場合はデータの補正はできません。学習をやり直して下さい。

# 船ベリアラーム

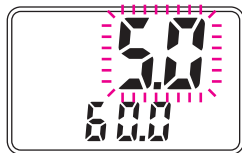
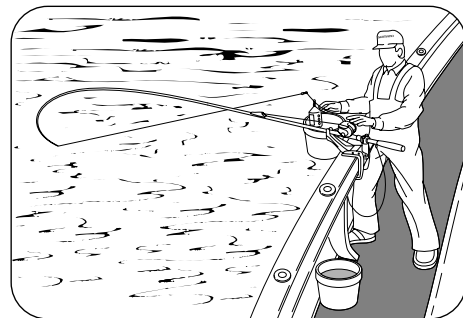
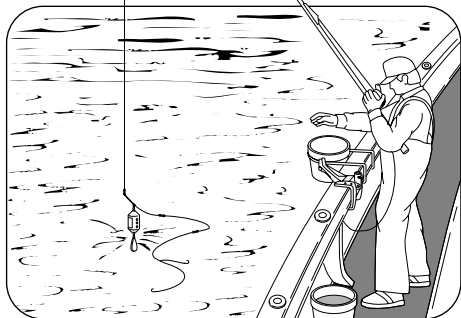
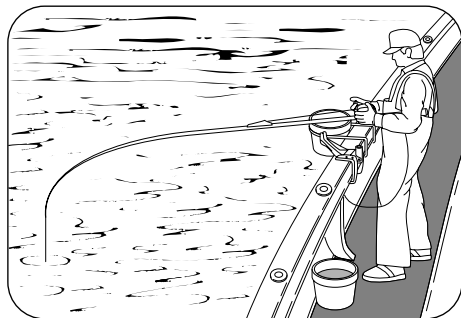
## 6 船ベリ停止位置が自動的にセットされ、アラームでお知らせします。

巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来ればコマセの詰め替え・エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。

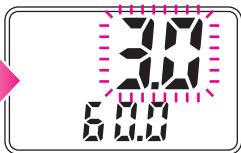
このリールでは、船ベリでアラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にくるように自動的に設定されるようになっています。

アラームが鳴る水深が設定されたときは「セット」の表示が2秒間点灯します。

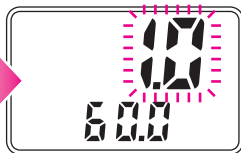
電源投入時初回のみ6mで船ベリアラームが設定されています。2回目以降はコンピュータが自動的に判断して、前回のシカケ投入の位置に自動設定します。（この機能は1m～6mの範囲で作動します。）



ビッ



ビッ



ピピッ

**1** 記憶した船ベリ停止位置よりも4m手前から、2mおきに「ビッ」のアラームが鳴ります。

**2** 3回目の「ピピッ」のアラームで、巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

### ワンポイントアドバイス

短い竿、例えば1mの竿で足場の高い船のミヨシで釣りをされる場合、通常のように海面で0セットをされますと、船ベリ停止機能が働く1～6mの範囲に入らなくなります。そんな時はシカケを穂先位置まで巻き上げ、その位置で0セットをされますと手元にシカケが来るようになります。その際、海面で0セットされていない為、竿先から海面までの距離が実際にはズレてしまいます。

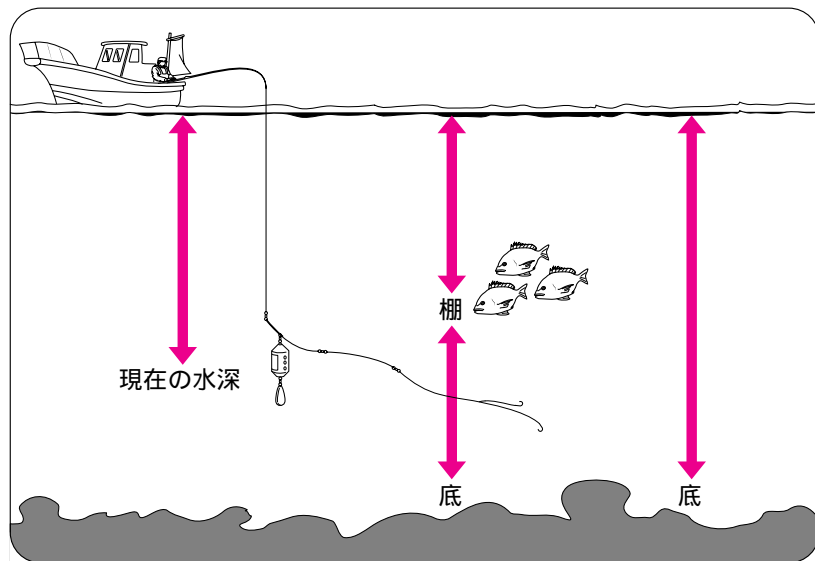


# 2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

## 7 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてください。この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

SLS小船シリーズは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と、底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。

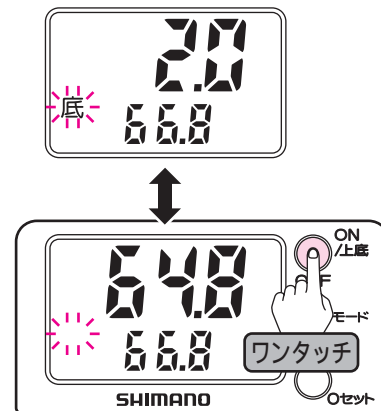


### モードの切り替え方法

ON/上底・OFFボタンを押してください。

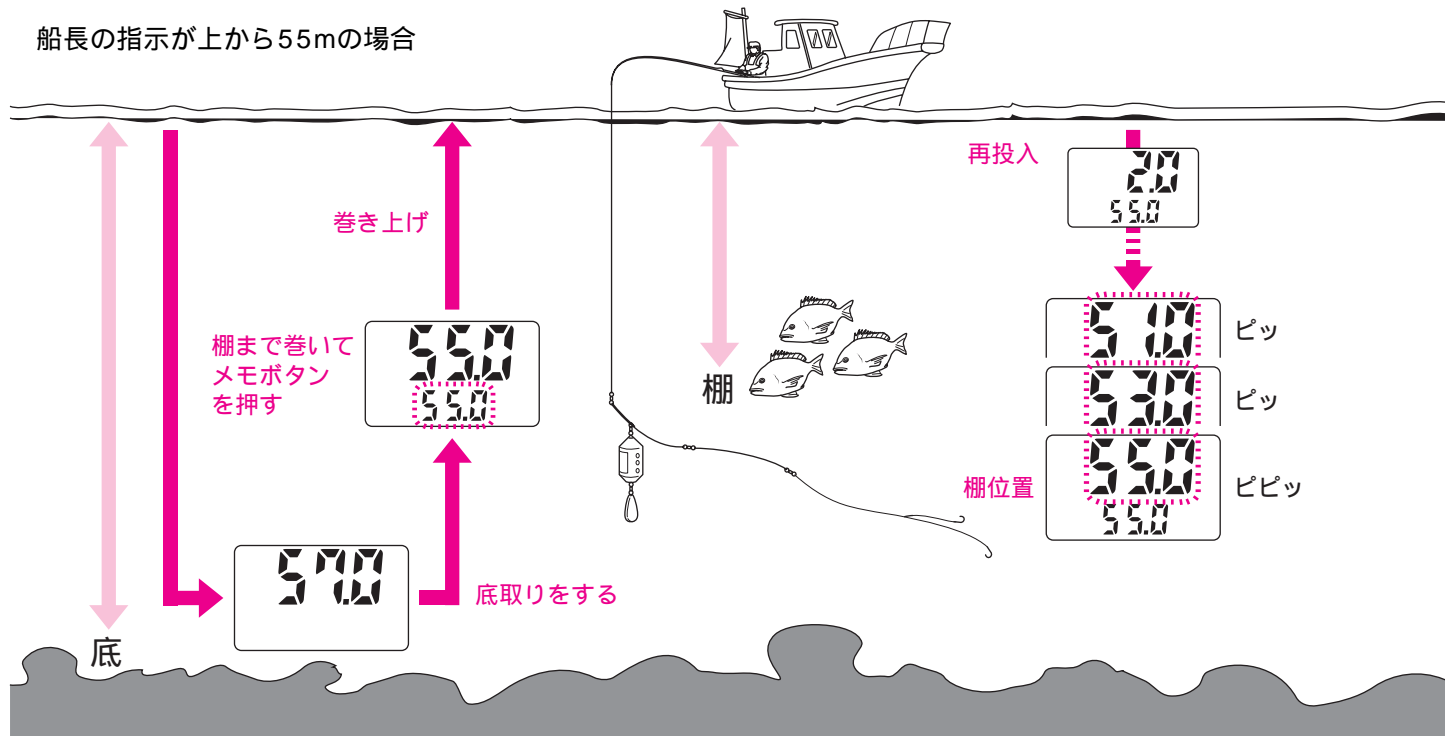
「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。

「底」の表示は底からモードです。表示のない場合は上からモードです。



# 上からモードの実釣編

船長の指示が上から55mの場合



**1** シカケをいったん底につけます。

**2** シカケを巻いて棚に持ってきます。

**3** メモボタンを押して棚をメモリーします。

以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入し、メモボタンで棚をメモリーすることも可能です。

**4** 再度投入します。

シカケを降ろす方向のみ、棚の4m手前で「ピッ」、2m手前で「ピッ」、棚位置で「ピピッ」とアラームが鳴ります。1回の上げ下ろしで、1回のみ発音します。



# 電池の交換方法

## 1 バッテリーアラームについて

**目** マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販の**CR2032**ボタン電池をお求めの上交換してください。なお、“Err”の表示が出れば電池寿命です。

CR2032は釣具店様や電器店様でご購入できます。

図は上からモード時の表示です。

(底からモードの場合もあります。)

メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。

通常の使用で3年程度の電池寿命です。

糸巻学習データ保護のため、すみやかに電池交換してください。

交換時期



電池寿命



4. バッテリーキャップを取り付け、しっかり締めつけます。(パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実に取り付けてください。)
5. 電源を“ON”し、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。

正しく交換されている場合、図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、+-、接触等を確認してください。

図は上からモード時の表示です。

(底からモードの場合もあります。)

データが保存されている場合



保存されていないと図の下段のような表示になります。

保存されていなかった場合には、再度学習を行ってください。

(6~13ページ参照)

データが保存されていない場合



### 交換時のご注意

電池交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。

電池交換中はカウンターのボタンを押さないでください。

湿度の高い場所での交換は避けてください。

バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。

電池の+-をまちがえないようにしてください。

リールに内蔵の電池はテスト用ですので、寿命の短いことがあります。

## 2 電池の交換方法

電池交換はあらかじめCR2032のボタン電池を購入の上、必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

また、**3分以内に作業を終了**するようにしていただくと同時に、**交換中はカウンターのボタンを押さない**でください。入力されていたデータが消えることがあります。

1. バッテリーキャップをゆるめ、取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池を入れます。(手前側が+になるように)

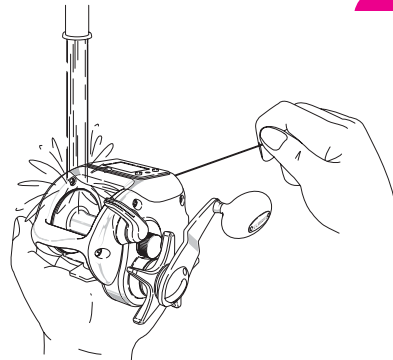
# お取り扱い上の注意

リールは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

## 1 リールのお手入れ方法

このSLS小船はリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、簡単にメンテナンスできるシステムになっています。  
用意するもの：リール・スポンジ

1. まずドラグをしっかりと締め込んでください。
2. 水道水をリールにかけながら、水を含ませたスポンジで汚れを落とします。
3. スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。(右図参照)これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
4. 影干してよく乾燥させてください。  
水中に浸けて洗わないでください。  
保管の際にはドラグを緩めてください。



### ご注意

A-RB (耐塩水ベアリング) は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する(塩カミ)のを防ぐもので

はありません。

ベアリングの塩カミについて  
基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残り、乾燥して塩カミを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を払拭する事は殆ど出来ません。例えA-RBであっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意ください。

## 2 ご使用上の注意

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。

リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようご注意ください。

偏光ガラスの種類によってカウンター液晶画面が見にくくなる場合があります。

次ページにつづく

### 3 お手入れの方法

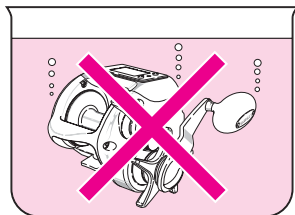
各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

リールは分解しないでください。特に本体のハンドル側は絶対に分解しないでください。

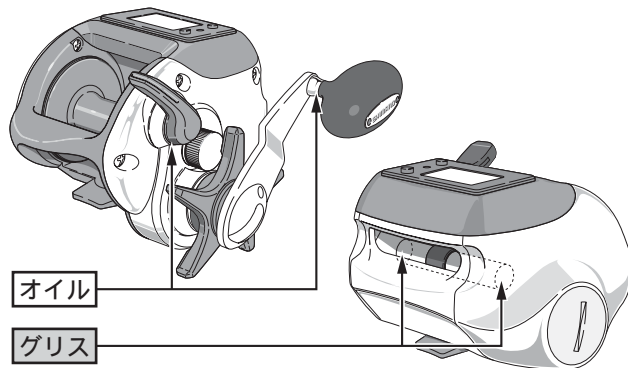
ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記または前ページの手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)



#### オイル・グリスUPポイント



オイル・グリス類はシマノ純正品(別売・下記)をお使い下さい。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。

\*単品でご購入される場合

シマノ純正リールオイルスプレー (SP-013A)  
シマノ純正オイルスプレー (SP-0018)  
シマノ純正リールグリススプレー (SP-023A)

\*リールオイルスプレー (SP-013A) とリールグリススプレー (SP-023A) の2本セット

シマノ純正リールメンテナンススプレー (SP-003H)

いずれも小売店様にてご注文ください。

## 4 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に（例ノストッパーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社（フリーダイヤル）へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

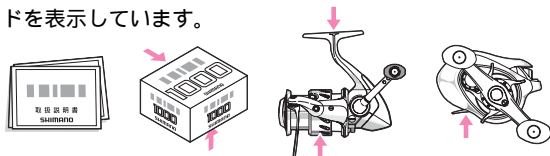
例 / 製品名：ステラ1000S

商品コード：02080      製品コード：SD34B012

部品番号：2              部品名：スプール

商品コード/製品コードの位置




取扱説明書・分解図・パッケージ底部もしくは側面に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

## 5 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っているとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
	回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

# 仕様

品番	商品コード	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m)	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング (ボール/ローラ)
SLS小船 800XH	02137	RF560800	5.1:1	5	400	3-250 4-200 5-150	67	42/33	3/1
SLS小船 1000XH	02138	RF561000	5.1:1	5	395	3-300 4-250 5-200 6-150	67	42/33	3/1
SLS小船 2000XH	02139	RF562000	5.1:1	5.5	410	4-300 5-250 6-200	67	42/38	3/1
SLS小船 3000XH	02130	RF563000	4.6:1	8	475	4-450 5-370 6-300 8-200	72	50/43	3/1

糸巻量の太字は指定糸です。

下巻ラインまで下巻すれば、下記の糸を巻くことが可能です。目安としてお使い下さい。

800...3号-200m    1000...4号-200m    2000...5号-200m    3000...5号-200m、6号-200m


標準付属品：取扱説明書、分解図、下巻ゲージ、糸通しピン

使用電池：CR2032(電池寿命は普通の使い方では約3年)

ボールベアリングとローラクラッチはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB (Anti-Rust Bearing)」を採用しています。



# 故障かな？と思われたときは

こんなとき	操作	参照ページ
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が表示しない。	ON・OFFボタンを押して下さい。他のボタンでは点灯しません。 電池切れ、+・-のまちがいなどを確認してください。	3、6、20
学習モードにならない。	モードボタンを何回か押して再度確認下さい。	3、6
学習セットにならない。	巻き取り長さが学習セット条件を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。 30m以上の糸長さでの学習をおすすめいたします。	5～13
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。	5～13
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での0セットを行なってください。 また、入力可能な船べりセットは、1m～6m未満の範囲です。 0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定しています。	14～16
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びて不正確になっているときがあります。（特にナイロン糸）	5～13
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。低温（-5以下）にて使用の場合 電池の能力低下で表示がうすくなる場合があります。 そうでない場合は電池の寿命と考えられます。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。	20

表示が下図のようになるときは...



電池の消耗によるものです。  
学習データ保護のため、すみやかに電池を  
交換してください。 20ページ参照



糸巻学習操作が不正確な場合の表示です。  
お手数ですが、再度学習をおこなってください。  
5～13ページ参照



電池交換時に学習データが保存されていなかった  
場合の表示です。お手数ですが、再度学習を  
おこなってください。 6～13、20ページ参照

# 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所

〒001-0925 札幌市北区新川5条1-3-50 TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 静岡営業所

〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(055)962-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ 中国営業所

〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220


株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

シマノ臨海株式会社 釣具サービス課

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1-5-15 TEL.(072)243-2851

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントや商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ  
フリーダイヤル  0120-861130（ハローイイサオ）フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538（有料）  
をご利用下さい。受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝日除く）

シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

新製品情報・気象情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。  
また、カタログのお申し込みも受け付けています。

シマノi-mode情報 アドレスは <http://fishing.shimano.co.jp/i/> です。

商品情報・イベント情報・釣りに役立つ情報等をいち早くお届けします。

Printed in Malaysia (061214) 035

# SHIMANO

糸通しピン